

愛川町教育委員会

平成27年11月24日

愛川町教育委員会 11月定例会会議録

- 1 会議日程 平成27年11月24日(火)  
午後2時00分から午後2時43分
- 2 会議場所 愛川町役場2階201会議室
- 3 議事日程 日程第1 前回会議録の承認について  
日程第2 教育長報告事項について  
(1) 教育長報告事項  
日程第3 平成27年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検評価結果報告書(平成26年度事業対象)について  
日程第4 その他  
(1) 平成28年度予算への意見・提言について  
(2) 立志式について  
(3) 新町発足60周年記念「若者たちの音楽祭」について
- 4 出席委員 教育長 佐藤 照 明  
教育委員 平 田 明 美  
教育委員 榮 利 隆 一  
教育委員 井 上 正 博
- 5 欠席委員 教育委員 梅 澤 秋 久
- 6 説明を要した者及び議事録作成のため出席した者  
教育次長 佐 藤 隆 男  
教育総務課長 山 田 正 文  
スポーツ・文化振興課長 相 馬 真 美  
指導室指導主事 板 橋 康 史  
生涯学習課副主幹(社会教育主事) 瀧 喜 典

◎開会

- （佐藤教育長） 本日、出席者4名でありますので、定足数に達しております。愛川町教育委員会11月定例会は成立いたしました。

よって、これより開会いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりでありますから、ご承知願いたいと思います。

これより日程に入ります。

---

◎日程第1

- （佐藤教育長） 始めに、日程第1、前回会議録の承認についてを議題といたします。

10月定例会分でございますので、会議録については既に配付のとおりです。

これより質疑に入ります。

ご意見・ご質疑ありましたら、お願いいたします。

（発言する者なし）

- （佐藤教育長） よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

- （佐藤教育長） 質疑、特にありませんので、終結し、表決に入ります。

日程第1、前回会議録の承認について、本案を原案のとおり承認することに異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

- （佐藤教育長） ご異議ないものと認めます。

よって、日程第1、前回会議録の承認については、原案のとおり承認されました。

なお、定例会終了後に会議録署名原本をお回しいたしますので、委員の方は署名をお願いいたします。

---

◎日程第2

- （佐藤教育長） 次に、日程第2、教育長報告事項についてを議題といたします。

資料1の教育長報告に基づき報告をいたします。

それでは、私のほうから報告をさせていただきます。

教育長報告、10月28日から11月23日までの間に出席いたしました主な会議等につきまして、下記のとおり報告をいたします。

10月28日教育長辞令交付式、就任あいさつ、中津方面の施設等に訪問をいたし挨拶をしてきました。29日木曜日、同じく就任あいさつ、愛川、高峰方面、それから近隣市町村等の教育長等に挨拶に行つてまいりました。30日金曜日、県教育委員会連合会研修会、鎌倉市ということで、委員の皆様と一緒に参加をさせていただきました。31日土曜日、社会福祉大会、文化会館で行われました。

11月1日やまびこマラソン開会式、宮ヶ瀬湖畔のところで行われた開会式に参加をいたしました。2日月曜日、まち・ひと・しごと創生推進本部会議に参加をいたしました。3日火曜日、町表彰式に参加をしました。5日木曜日、就任あいさつということで、愛川高校へ行ってまいりました。8日日曜日、ソフトバレーボール連盟20周年記念式典ということで、第1号公園の体育館で行われた式に参加をいたしました。午後、MOA児童画展表彰式ということで、これは文化会館の展示ホールで行われましたけれども、町内の小学校6校が参加をしていました。ご存じのとおり、MOA児童画展は昨年度が1回目ということで、今回が2回目、それ以前は厚木愛甲地区ということで開催をしていたというふうに聞いております。どの絵も一生懸命描かれており、技巧を凝らしたものが多くありました。9日月曜日、菊花展、古民家山十郎で行われました。中津菊趣会の方々の作品展示ということで、大変立派な菊が開花しておりまして、菊香る秋にふさわしい展示会であったように思います。12日木曜日、郷土資料館運営委員会。13日金曜日、小学校連合音楽会、小学校5年生の6校の子供たちが、合唱、合奏等で発表してくれましたが、どの学校も大変一生懸命練習した成果が出ておりました。午後には、厚木地区私立幼稚園協会研究大会ということで、厚木市文化会館でございましたので、参加してきました。14日土曜日、ふれあいレクリエーションが町内6校で行われました。今回は、高峰小、田代小、半原小の3校を訪問いたしました。地域とのかかわり、子供たちが非常に楽しそうに活動している姿が大変印象的で、こういう形を通して子供たちが社会性を身につけていくんだなということで、改めて、このふれあいレクリエーションの意義を感じた次第でございます。15日日曜日、体育協会40周年記念事業ということで、文化会館で行われました。16日月曜日、まち・ひと・しごと総合戦略推進委員会が、この役場でございました。17日火曜日、立科町議会議員視察対応ということで、この日に立科町の議員さんが来られました。郷土資料館を視察ということでしたので、郷土資料館に行きまして、ご挨拶と、見学等、一緒に同行させていただきました。午後、厚木愛甲地区教育長

会ということで、合同庁舎のほうで行われまして、それに参加をしました。18日水曜日、神奈川県市町村教育長会連合会総会ということで、海老名市でございまして、それに参加をしましてまいりました。20日金曜日、町文化協会視察研修ということで、東京都内の浅草方面等を視察研修をさせていただきました。21日土曜日、交通安全推進大会、午後、塩川溪流の紅葉ライトアップの開会式に参加をしましてまいりました。これについては、ことし初めての開催というふうに聞いております。22日日曜日、中津公民館まつりということで、これにも開会式に参加をいたしまして、展示等を見てまいりましたけれども、非常に一生懸命取り組まれたその成果が出ておりました。23日月曜日、詩吟連盟の発表会ということで、文化会館で行われました。1部・2部・3部とございましたけれども、1部だけ聞いてまいりましたが、本当に日ごろの練習の成果を十分発揮されて、大変充実した発表会になっておりました。

以上で、教育長報告を終わりにしたいと思います。

これより質疑に入ります。教育長報告事項について、質疑等があれば、お願いいたします。

(発言する者なし)

○(佐藤教育長) よろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○(佐藤教育長) それでは、日程第2、教育長報告事項について、ご了承願います。

---

### ◎日程第3

○(佐藤教育長) 次に、日程第3、議案第12号 平成27年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検評価結果報告書(平成26年度事業対象)についてを議題といたします。

提案者の説明をお願いいたします。

○(佐藤教育次長) 議案第12号についてご説明を申し上げます。

平成27年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果報告書につきましては、前回の定例教委の席で、教育委員会の考え方を取りまとめたものをご覧いただいております。本日は、その内容につきまして最終決定をしていただきたいと思います。なお、前回お示しした内容について、教育委員さんから修正の意見等はありませんでした。

説明は以上であります。

○(佐藤教育長) これより質疑に入ります。ご質疑、ご意見等がありましたら、お願いいたします。

(発言する者なし)

○（佐藤教育長） 特によろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） それでは、質疑のほうを終結し、表決に入ります。

議案第12号 平成27年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検評価結果報告書（平成26年度事業対象）についての採決をいたします。

本案を原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○（佐藤教育長） ご異議ないものと認めます。

よって、議案第12号 平成27年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検評価結果報告書（平成26年度事業対象）については、原案のとおり可決されました。

---

#### ◎日程第4

○（佐藤教育長） 次に、日程第4、その他を議題といたします。

（1）平成28年度予算への意見・提言についての説明をお願いいたします。

○（山田教育総務課長） 資料2になりますけれども、28年度の予算への意見・提言についてでございます。現在、町では、平成28年度の予算編成業務を行っているところでございまして、予算編成に当たりましては、学校や団体などからの要望等の内容を検討した上で、新年度予算に反映できるように努めているところであります。資料2の1枚目につきましては小学校校長会から、そして、2枚目が中学校校長会から提出されました予算に係る要望書でございます。

新年度の予算編成に当たりましては、既に町長から予算編成方針が示されておりまして、平成28年度の財政見通しといたしましては、引き続き人口減少による個人町民税の減収や、法人町民税の税率引き下げなどから町税収入の減少が見込まれる。また一方で、扶助費や医療、介護など高齢化に伴う社会保障関係経費の増大に加えまして、各種公共施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加といったものが避けられない状況となっておりますことから、全ての事業の見直しを徹底するとともに、職員一丸となって事務事業の選択と集中の強化を図ることとされているところであります。こうした厳しい状況の中でありまして提出されました要望の内容につきましては、多岐にわたっておりますので全てを予算に反映させることはできませんが、優先度の高いものから、できるだけ予算に反映できますよう努めてまいりたいと考えているところでございます。

また、現在、町では、愛川町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定を進めておりますので、そちらのプランに盛り込まれる事業については優先的に予算化が進むことになろうかというふうに考えております。そのほか、町長の公約の一つであります小中学校へのエアコン設置工事につきましても、今後、協議を重ねる必要がございますが、予算化がされるものというふうに考えているところであります。

本日、資料といたしまして、校長会の要望書の写しを提出させていただきましたが、教育委員の皆様から、予算に対するご意見等ございましたら、よろしくお願ひしたいと存じます。

以上でございます。

○（佐藤教育長） これより質疑に入ります。ご質疑、ご意見等がありましたら、お願ひいたします。

はい、榮利委員。

○（榮利委員） 何ページになるのかな、中学校の裏に、指導室派遣事業に関する要望がありますよね。その説明は今なかったですけども。

○（佐藤教育長） 平成27年10月1日の要望書の文書ですね。

○（山田教育総務課長） 最後のページにございますが、校長会から、指導室の派遣事業に関する要望となっております。こちらにつきましては、現在も、これは中学校からですけども、小中学校に学習サポーターをはじめ、支援員を派遣しております。こうしたところに、学校側といたしましても、引き続き、こういった支援員の拡充の要望が出ております。教育委員会事務局といたしましても、できる限り、支援員の確保、拡充ができるよう予算要望をしていきたいというふうに考えております。

以上です。

○（佐藤教育長） 今、指導室の派遣事業に関する要望書も含めて説明をしていただきました。質疑、意見等がありましたら、あわせてお願ひいたします。

1点質問してよろしいですか。昨年度も、こういう要望書が出ていると思うんですが、特に昨年度と違った部分というのは要望書の中にありますか。

○（山田教育総務課長） 昨年度も同様の要望書が提出されております。基本的には同様の内容となっております。

以上です。

○（佐藤教育長） ほかに、ご質疑、ご意見等ございますでしょうか。

平田委員。

○（平田委員） 今、教育長が触れられた要望書の件で、教育総務課長から、昨年と同じという答えが出たところですが、やはり、昨年と同じでも、どこかは変わってないと、これはいけないと思いますので、その辺をちゃんとしていただければと思います。また、何か変化がありましたら、昨年と同じでも、ここはこうなったというのを、あれば教えていただきたいんですが。

○（山田教育総務課長） 先ほど、お答えしたように、基本的に内容は同様となっております。また、学校、校長会等においても、今後も協議していきながら、特に新しく加わるものですか、重点的な要望項目等もお聞きしてまいりたいというふうに考えております。

○（佐藤教育長） ほかにありますでしょうか。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） 質疑ないようですので、平成28年度予算への意見・提言については、ご了承願います。

次に、（2）立志式についての説明をお願いいたします。

○（瀧生涯学習課副主幹） それでは、立志式についてご説明させていただきます。

資料3をご覧くださいと思います。

平成28年（第48回）「愛川町十四歳立志式」の開催要項に基づいてご説明いたします。

今回で48回目を迎えます愛川町の立志式は、平成28年2月5日金曜日の午後1時より、愛川町文化会館ホールにて開催いたします。中学校最高学年を目前にした2年生にとって、2月が、将来の自分の姿を思い描きながら自分の進むべき道をじっくり考えていく時期としてふさわしいことから、毎年この時期に開催しております。今年度の町内の中学校2年生の数は、昨年度とほぼ同数の408名となっております。

続きまして式典でございます。式典につきましては、今年度も、第1部、第2部として進めさせていただきます。第1部では、各中学校から、わたしたちの誓いを各校7分程度で発表していただきます。第2部になります。第2部では、今年度、新たな講師として坂本達氏をお招きして講演をお願いしております。坂本さんは4年3カ月の間、有給休暇扱いで自転車の世界一周の旅へ出かけ、さまざまな体験をされております。その中で感じたこと、自分への可能性などを14歳の子供たちに伝えていただきたいと思っております。坂本氏の資料につきましては資料の最後につけておりますので、後ほどご覧ください。

また、今年度も、保護者席を50席ほど用意できますので、用意をいたしたいと思っております。こちら、資料のほうに文化会館の座席表のほうを用意しておりますので、また後ほどご



覧ください。

既に10月に行われました各学校の担当者との会議におきまして、細かな点についてはお伝えしております。各中学校の担当学年を中心に役割分担や内容を決定していただいているところでございます。教育委員の皆様には、お忙しい中ではございますが、立志式当日、出席していただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

説明は以上になります。

- （佐藤教育長） 説明は以上ということです。これより質疑に入ります。ご質疑、ご意見等がありましたら、お願いいたします。

榮利委員。

- （榮利委員） 2つほどありまして、1つは、今回講師がかわりましたよね、腰塚さんから。かわった経緯をちょっとお聞かせ願いたいのと、座席のところ、確かに来賓席が27あるんですが、この27人の番号が座席のところに書いてないので、どこに座るかわかりにくいので、それをあらわしたほうがいいんじゃないかなと思ったんです。

- （瀧生涯学習課副主幹） まず、ご質問の1点目、講師がかわった件についてですけれども、まず、坂本達さんにつきましては、昨年度も、講師の1名ということで候補として挙げさせていただいておりました。その中で、各学校さんとの協議の上、昨年度は腰塚さんということで、3年続けて腰塚さんをお願いをいたしました。反省の中で、腰塚さんの話はとてもよかったという話もございます一方、また新たな講師の開拓ということの話もございましたので、その中で、今年度も、昨年度講師の候補として挙げさせていただいた坂本達さんを候補者の一人として挙げさせていただいた上で、各学校さんとの協議の中で、ことしは坂本達さんの話を聞いてみたいというご意見が多かったので、坂本達さんでのご依頼をしたという形になっております。

ご質問の2点目ですけれども、座席の場所なんですけれども、こちらにつきましては、来賓の方々の座席につきましては、また、1月の教育委員会定例会のときに、お名前の入った形ということで示させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

- （榮利委員） これ、演題が入ってないですけれども、講師の方の。これは、中学2年生の生徒に、将来に対する希望とか夢とか、そういうのを持ってもらいたいというふうな話をされるんですか。

- （瀧生涯学習課副主幹） 演題については、まだ、こちら未定ということで入れてはいないんですけれども、一つの仮の題として、夢への挑戦ということで、今お願いしようかなとい

うことで、そういった講演内容で今まで実績もございますので、中学生に対しての講演をしていただければなということで調整をしております。坂本さんにつきましては、現在もまた海外へ出かけている最中で、連絡をまたとりながらということの状況になっております。

以上です。

- （佐藤教育長） 榮利委員、よろしいですか。
- （榮利委員） できれば、そういう演題にしてもらいたいなという思いがあったので、ちょっと聞かせていただきました。いいです。
- （佐藤教育長） 事務局、そういうことですので、タイトルのほうも加味しながら決めてってください。

ほかに、質疑ありますでしょうか。

ほかにありませんか。

（発言する者なし）

- （佐藤教育長） ほかに質疑ありませんので、（２）番の立志式については、ご了承願います。

次に、（３）新町発足60周年記念「若者たちの音楽祭」について、説明をお願いします。

- （相馬スポーツ・文化振興課長） それでは資料４であります。

既に、公共施設等にポスター、チラシを張り出し、配布をさせていただいておりますけれども、若者たちの音楽祭の開催についてであります。この若者たちの音楽祭につきましては、既にご案内のとおり、新町発足60周年を記念し、ロックやポップスなどの、いわゆる軽音楽が好きな若者の皆さんに発表する機会を提供し、若者同士の交流を深め、若者文化の振興を図るため開催をするものであります。開催については、ちょっと字が小さくて申しわけないんですけども、12月20日日曜日、午前11時30分開場、12時開演、午後7時半に終演の予定であります。会場は町文化会館ホール、入場は無料であります。

出演バンドにつきましては、そこに出演バンド名を記載しておりますけれども、愛川町在住、在学、在勤など、町にゆかりがある方が所属していることなどを条件に募集を行ったところ、愛川高校や町内の小中学校出身者など19組の応募がありましたけれども、1組、都合が合わなくなりまして辞退となりましたので、全18組の出演であります。

当初は8組程度の出演を予定しておりましたけれども、応募が多数ということでありましたけれども、全グループに出演していただくこととしたものであります。出演するグループにつきましては、その出演するグループの中には、地元で、なかなかこうした演奏を発表で

きる機会がない中で、このようなイベントに参加できるのはとてもうれしいといった意見などがございました。ことしの8月から実行委員会を立ち上げまして、正副委員長や幹事などの役員を決めまして、出演グループみずからが自主的に運営・開催をしてもらうため、何度か実行委員会や役員会を開催いたしまして調整を行い、詳細を詰めてきたところでございます。

この実行委員会の委員長の澁谷隆史さんという方でありますけれども、この澁谷隆史さんは中津第二小学校、愛川中原中学校の出身で、以前、生涯学習課で行ってございました、わくわくホリデープランのクリスマスチャリティーコンサートにも出演されたことがあるそうあります。また、今回、お手元にお配りをしておりますチラシでありますけれども、こちらは、出演者の方がデザインしたものであります。演奏時間につきましては、限られた時間の中で、楽器等の準備や片づけなどを含めまして1グループ20分としたものでありますけれども、それでも、出演グループが18組ということから、お昼12時に開始をしても、終了が午後7時30分ということで、大変長丁場といたしますか、長時間の開催となるものであります。何しろ今回初めての若者たちの音楽祭の開催でありますので、いろいろあるかと思っておりますけれども、何とか盛況に終わらせたいということで、イベントを盛り上げて成功させたいと考えておりますので、関係者皆様のご理解とご協力、ご配慮を賜りたいというふうに考えております。

説明は以上であります。

- （佐藤教育長） これより質疑に入ります。ご質疑、ご意見等がありましたら、お願いいたします。

平田委員、お願いします。

- （平田委員） お尋ねいたします。一応、主催が教育委員会になっておりますので、これ、開演が12時で終演が7時半なんですけど、私どもはどの形で。教えてください。
- （相馬スポーツ・文化振興課長） 教育委員の皆さんについては、一応、案内状をお出ししたいというふうに考えております。先ほど言いましたように、開演がお昼ということでありまして、今のところ考えているのが、1グループ、最初に、出だしというか、やってもらいまして、その後、町長に開会宣言をやらしてもらおうかなということ考えております。ですから、特に何時に来てくださいということではないですけれども、長時間でありますので、その辺は、教育委員さんのご都合で来ていただいて盛り上げていただければというふうに考えておりますので、特に、できれば最初の時点で顔出しというか、しておいていただければあ

りがたいかなというふうには思っております。

以上です。

- （佐藤教育長） 平田委員。
- （平田委員） すいません、また、質問になってしまうんですけども、初めてのことなのでやってみなければわからないのは当然なんですけど、やはり、最後のときにいないと、せっかく演奏される若者たちにとっても残念だと思いますが、ある程度の人数は、やはりいたほうがいいのかなんて思います。そういう意味では、やっぱり協力という意味では、どのように考えていらっしゃるのかなと思うんですけども。
- （相馬スポーツ・文化振興課長） 一応、18組ということで、かなり出入りが激しくなってしまうかなというふうには考えております。盛り上げる方法として、一応、ペンライトみたいなものを配ろうということで考えておまして、それも、来場される方にお配りをして盛り上げてもらいたいと考えているんですけど、曲によってはハードなものもありますし、かなりしんみりというか、ソフトな部分で聞いてもらうというのがあります。最後のフィナーレは、みんなで歌えるような歌をやろうかなというふうには考えております。ですから、今、平田委員さん言われたように、最後がガラガラだとこれもしまらないことから、最後は、やっぱりみんなで歌えるようなものを設定して、最後、本当にこういう音楽祭を開催してよかったと、来年以降も続けていきたいと思えるようなイベントにしていきたいというふうには考えております。
- （平田委員） 身内が出るもので、それでちょっとお尋ねしたんですけども、時間がかなり長いもので、出るメンバーが、自分たちの演奏が終わってしまったら帰ってしまうのかなという懸念があります。演奏したメンバーも最後までいて、みんなで、課長がおっしゃったとおり、ご苦労さまと思えてやる形はいいんですけども、もし帰ってしまったら、せっかくの音楽祭がどうになってしまうのかなというものがありましたのでお尋ねいたしました。よく理解いたしましたので、ありがとうございます。
- （佐藤教育長） 今の平田委員さんの言われた部分、若干、初めてのことということもあるので、心配な部分についてはできるだけ解決できるように対応のほうを考えていただきたいと思えます。
- （井上委員） 関連なんだけれども、私もこれ、入場無料で、一体どのくらいの方が、このチラシを見てとか、情報を聞いて参加するのかなというふうに、ちょっと思うんですよ。やっぱり、やっているほうにしてみれば、ただ発表すればいいんじゃないかと、やっぱりお客さ

ん大勢のほうが張り合いがありますし、とても500席を埋めるというのは大きな問題だと思うんだけど、今の話は、この出演者のところには確認されているんですか。終わったら席のほうで見てくださいますか、空いていたら、なるべくそのところに、スタッフの人でも何でも、みんな、こういうふうに座りましょうなんていう確認というのはできているのでしょうか。

- （相馬スポーツ・文化振興課長） 一応、実行委員会方式ということで、各グループ1人代表で出ていただいて、当然、運営とかにも携わってもらおうということで、大変長丁場になりますんで、ずっといてくださいねということにはちょっと難しいかと思えますけれども、やっぱり、最初から最後まで運営には携わってもらっています。実行委員会でやりますんで、何らかの形で、関わりというんですか、例えば会場の受け付けがあったり、出入りするところのドアマンとか、あと会場の準備、片づけ、そういったものにも関わってもらわなければなりません。

また、会場の整理、やっぱり演奏している間に、あまりばたばた出入りしたり、また、ホールの中でも、やっていいことと悪いことがありますんで、飲食はだめだとか、ほかの見ている方に迷惑がかかるような行為ですとか、そういったことがないようにとか、一応、実行委員会の中で、最低限守ろうというようなルールブック的なものをつくって、全員同じような共通認識を持ってやっていこうという形では考えています。ですけれども、井上委員さん言われたような、最初から最後まで、ずっといてねというのは、これはなかなか難しいと思いますので、私も、今回初めてで、確かに、どのぐらいの人で埋まるのか、18組いれば、その友達とか家族、ずっといればかなりの人出になるのかなということで、やっぱり駐車場についても、一応、文化会館の周辺の関係駐車場はもとより、中原中学校のグラウンドまで全部借りてやろうかなということでは考えていて、実行委員さんなんかに意見はお伺いしたんです。そうしたら、いや、それほど、思うほどいっぱいになりませんよと、結局、出入りが激しくて、帰っちゃう人は多分帰っちゃうのかなという。

確かに、井上委員さん言われたように、会場は私どもも満員にしたいという気はあります。ですけれども、なかなか、ずっといるというのは難しいかなと思いますので、その辺は強制じゃなくて、ある程度みんな、町がやるんじゃなくて、若者みずから自分たちで企画して自分たちで運営していくんだということを基本にやってもらうということで、実行委員の方というか、バンドの皆さんにお伝えしてますんで、そういったつもりで多分取り組んでくれるのかなというふうには考えておまして、満員になることも期待をしているところであ

ります。

- （井上委員） 今、ずっと張りついてという意味で私は申し上げたんじゃないんだけど、なるべく会場の雰囲気の状態を見ながら、演奏が終わっちゃっても、もし席につける人はつきましようとか、スタッフの人でも、状況を見ながら、みんなが、そういう共通の認識を持って会場をいっぱいにしましようという思いをどこかで確認されたほうがいいかなと思ったんで質問したんです。一番いいのは、出ている人が座る席がないぐらいの、出た人が座れないぐらいの状況で、みんな、それぞれのグループのファンはきつといるでしょうから、そういう人たちがみんな来てくれれば、500ぐらいというのは不可能ではないなとは思いますが、そんな思いがあったもんですから、そこら辺は確認をしていただければなというふうに思いましたので、ちょっと申し上げましたけれども。

- （佐藤教育長） 事務局のほう、今の、また、ご意見を参考に工夫していただきたいと思います。

ほかに質疑ありませんでしょうか。

（発言する者なし）

- （佐藤教育長） ないようでありますので、（3）番の、新町発足60周年記念「若者たちの音楽祭」についてはご承知願います。

本日の案件につきましては全て終了いたしました。各委員から、ご意見、ご感想等がありましたらお願いいたします。

（発言する者なし）

- （佐藤教育長） よろしいでしょうか。

それでは、ご意見等ありませんので、事務局で何かございますか。

（「特にありません」との声あり）

- （佐藤教育長） それでは、以上で、11月定例会の議事日程が全て終了いたしましたので、閉会としたいと思います。ご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

- （佐藤教育長） ご異議ないと認めます。よって、11月の定例会を閉会いたします。長時間にわたりまして、大変お疲れさまでした。

なお、次回の教育委員会の定例会の日程は、12月21日月曜日の午後2時から、この201会議室で開催いたしますので、よろしくお願いたします。

愛川町教育委員会会議規則第17条第2項の規定により、ここに署名をいたします。

平成27年12月21日

教育委員会教育長

佐藤 照明

教育委員会

教育長職務代理者

平田 明美

教育委員

榮利 隆一

教育委員

梅澤 秋久

教育委員

井上 正博

調整職員

馬場 貴宏